

このようにしてできた

絵本「城崎Gs だれでもできる SDGs」

＜小学生が資源と環境の大切さを学ぶ施設を見学した夜、城崎の町がゴミだらけになる怖い夢を見ました。怖い夢のような世界にならないように、自分にもできることはないかを考え行動する物語です。＞

令和4年度に、豊岡市商工会青年部城崎支部の方から、「我々と子どもたちが一緒になって、SDGsの取組（環境問題と対策）をともに学び、協働実践していくきっかけづくりをしてみませんか」という提案をいただきました。

環境について学習する4年生との活動を紹介します。

☆SDGsについて学ぼう

講師の方に来ていただき、SDGs（持続可能な開発目標）についての理解を深めました。

☆「クリーンパーク北但」の見学

城崎支部の方とともに「クリーンパーク北但」で環境問題について学習しました。

☆だれでもできるSDGs グループワーク

城崎の町で自分たちにもできるSDGs達成に向けた取組についてグループで考えました。

☆絵本づくりへ

グループワークで出てきたアイデアを基に、城崎支部の方が絵本として仕立てていただきました。

絵本のあとがきを紹介します。

この絵本は、豊岡市商工会青年部城崎支部と城崎小学校4年生が1年かけていろんなことを勉強して作ったオリジナル絵本です。

SDGsってなんだか難しそうだし、自分には関係ないことかもしれないけど、実はとても身近な出来事がSDGsだったります。

よりよい地球にそして城崎にしていけるために、この絵本を手にとって少しでも考え、気づいてもらえたらうれしいです。みんなの力で城崎を自慢できる「まち」にしていきましょう。